



開催日：2018年7月14日（土）

会場：神奈川県総合医療会館 2階会議室

I 分娩介助研修「開業助産師の小技 進まないお産の対応」

時間：13：00～15：00

講師：山本助産院 院長 山本詩子氏

進まないお産には必ず理由がある その原因はなにか
微弱陣痛・回旋異常・不正軸進入などなど

内診の時に何をみるのか 努責の誘導は必要なのか その
タイミングは？ 不正軸進入や微弱陣痛など医療介入の
前に助産師としてできる対処法、会陰保護の留意点など図
式やイラストなど示して、具体的なコツについて説明していただきました。実際の分娩介助の

貴重な写真も多数見せていただきあっと言う間の2時間でした



II 母乳育児支援研修「産後1か月までの支援」

～有床助産所 及び 出張助産所の立場から～

時間：15：20～17：20

講師：みやした助産院 助産師 阿保美樹氏

ナチュラル母乳育児相談室 又木 由美氏

みやした助産院・阿保助産師より、母乳育児においてフォロー
が必要な母子の見極めとそのサポートについて、妊娠中の
チェックポイントや初回授乳、産後2週間健診での支援など

「予測、支援、修正」の繰り返しが重要であることなどを伝えられました。出張開業をされている又木助産師からは地域における支援の実際として、川崎市を中心とした行政による母子支援の概要のほか、訪問するときの注意点や症例として行政や医療機関への連携を行ったケースの実際などご紹介いただきました。病産院、助産所、地域の助産師、市区町村など様々な立場の助産師がそれぞれの支援の情報を交換し合い、自分のケアの振り返りをするとともに必要な連携を持ちながら切れ目のない支援をすることの重要性をさらに認識することができました。



感想

- ・技術習得に対して『勉強になった』
- ・産後ケアを導入していくうえで、どのタイミングで利用してもらうか、需要が多いのかなどわかった。
- ・分娩後、早期授乳や2週間健診でのケアが重要と改めて学ぶことができた。
- ・病院で取り入れられることが少なかった。
- ・ケアの実際や手技など技術に重点を置いた研修もやってほしい

